

新課程対応
(歴史総合)

デジタル版
同時発刊

2022年度
新刊案内

明解 歴史総合図説 シンクオニア

最新版

ご採用特典

Webサポート



Check!

サンプルはこちらから!

新刊

日本と世界のかわりが見える！
読み解きで楽しく学べる資料集

歴史総合
に対応！

帝国書院

※本冊子に掲載されている内容は、一部変更となる可能性があります。

日本と世界のかかわりが見える！ 読み解きで楽しく学べる資料集

基本特色

部ごとにテーマで日本と世界を見る「時代の展望」

三つの部の冒頭に、テーマごとに日本と世界を概観・比較できるページを掲載しています。

p.6-7

楽しく着実に学習できる構成の「通史ページ」

スモールステップで楽しく学べ、着実に知識・技能が身につく構成になっています。

p.8-13

時期ごとに世界を見渡す「世界全図」「東アジア全図」

全12点の広域な歴史地図で、世界の変化や日本とのつながりを時期ごとにつかめます。

p.14-17

注目ページ

巻頭「もしもスペインかぜ流行時にSNSがあったなら」

巻頭には、感染症をテーマとして、生徒に身近なSNSを模したページを掲載しています。

p.18-19

各地の風土や前近代史をまとめた「地域の基礎知識」

近現代の深い理解に役立つ、各地の風土や前近代の歴史事項をいつでも確認できます。

p.20-21

デジタル

デジタル版(クラウド配信版)を同時発刊！

p.22-23



AB判 198ページ 定価 820円 (本体 745円 + 税)

印刷 2022年2月20日 発行 2022年2月25日

クラウド配信版 定価 820円 (本体 745円 + 税)

セット版 (書籍 + クラウド配信) 定価 1,320円 (本体 1,200円 + 税)

指導者用Webサポート

- 資料集掲載の動画 全15点
- 動画の解説 + クイズシート
- 通史ページ「ヒストリーツアーズ」
「〇〇の視点から振り返ろう」解答
- 巻頭「もしもスペインかぜ流行時にSNSがあったなら」資料解説

裏表紙

全体構成

基本特色

注目ページ

デジタル

▼見返3-p.1 目次

明解歴史総合図説 シンフォニア 目次・本書の使い方

巻頭	【ヨーロッパ編1】ヨーロッパの風土と人々	40
現在の世界の国々	【ヨーロッパ編2】ヨーロッパの歴史①古代～中世	42
目次・本書の使い方	【ヨーロッパ編3】ヨーロッパの歴史②近世	44
1 【歴史の扉】もしもスペインが流行病にSNSがあったなら	【南北アメリカ編】南北アメリカの風土と人々/南北アメリカの歴史	46
2 【世界全図と東アジア全図で見る歴史】	第1部 近代化と私たち	
【世界全図】16世紀ごろの世界——体化し始める世界	【時代の展望】第1部 近代化①	48
【世界全図】17世紀ごろの世界——「危機」の時代の到来とその対応	【時代の展望】第1部 近代化②	50
【東アジア全図】16世紀～17世紀半ばの東アジア——ヨーロッパの来航と対立	【時代の展望】第1部 近代化③	52
【東アジア全図】17世紀半ば～18世紀の東アジア——清帝国の成立と東アジア	世界とつながる江戸幕府——統制しながら安定を維持する政策	54
【世界全図】18世紀ごろの世界——本格化するヨーロッパのアジア進出	江戸時代の産業と交通——日本を駆けめぐる物と人	56
【世界全図】19世紀ごろの世界——世界支配を目指すイギリス	江戸時代の教育と学問——全国の学校と蘭学・浮世絵	58
【東アジア全図】19世紀後半の東アジア——近代国家日本の誕生と変わる東アジア	清の繁栄——中華を継ぐユーラシアの帝国	60
【世界全図】20世紀前半の世界——世界を覆う2度の対立	オスマン帝国の繁栄——中東最強のイスラム帝国	62
【東アジア全図】20世紀前半の東アジア①——第一次世界大戦後の民族自決と国際協調	【特集】アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	63
【東アジア全図】20世紀前半の東アジア②——日本の大陸進出と太平洋戦争	イギリスの主権国家の形成——啓蒙思想の誕生	64
【東アジア全図】20世紀後半の東アジア——東西冷戦と日本	アメリカの独立——現在へ続く大國の産声	66
【世界全図】20世紀後半の世界——東西冷戦の対立	フランス革命——「旧体制」崩壊への道	68
3 地域の基礎知識	ナポレオン時代——「解放者」か「侵略者」か	70
【東アジア編1】東アジアの風土と人々	ウィーン体制の成立と崩壊——反革命の限界	72
【東アジア編2】日本の歴史①飛鳥時代～平安時代	産業革命——技術革新が変えた人々の生活	74
【東アジア編3】日本の歴史②鎌倉時代～江戸時代初め	大英帝国——七つの海に君臨した大帝国	76
【東アジア編4】中国の歴史①漢～宋	19世紀後半のフランス——目まぐるしく変わる政体	78
【東アジア編5】中国の歴史②元～明	ロシアの改革——皇帝が行った「上からの」改革	79
【南アジア・東南アジア編1】南アジア・東南アジアの風土と人々	イタリア・ドイツの統一——新たに生まれた二つの大國	80
【特集】世界の宗教	アメリカ合衆国の発展——内戦を乗り越えた合衆国の一体化	82
【南アジア・東南アジア編2】南アジア・東南アジアの歴史	【特集】帝国主義の出現	84
【西アジア・北アフリカ編1】西アジア・北アフリカの風土と人々	近代の西アジア——衰退するオスマン帝国	85
【西アジア・北アフリカ編2】西アジア・北アフリカの歴史	近代の南アジア——植民地化への抵抗	86
【アフリカ編】アフリカの風土と人々/アフリカの歴史	近代の東南アジア——列強諸国による分割	87

ページ番号の前にあるアイコンは、通史ページの振り返りの観点を示しています。
 ●：自由と制限 ☆：平等と格差 ♣：開発と保全 ■：統合と分化 ▲：対立と協調
 (振り返りについては本冊子 p.9 で解説)

近代の東アジア——西洋の脅威に揺れる清	▲ 88	日中戦争——日中戦争の始まりと戦時体制の強化	■ 140
日本に迫り来る列強——次々と現れる黒船	● 90	第二次世界大戦①——第二次世界大戦と太平洋戦争の始まり	● 142
日本の開国——黒船来航と自由貿易の始まり	● 92	第二次世界大戦②——戦局の悪化と被害の拡大	▲ 144
幕末の動乱と江戸幕府の滅亡——維新への道のり	▲ 94	【特集】世界大戦の被害と戦争処理	147
明治維新——明治政府による近代化と初期外交	▲ 96	国際連合の設立と冷戦の始まり——対立する東西陣営	▲ 148
近代国家を目指す日本——立憲体制への道のり	▲ 98	アジアにおける冷戦の影響——日本の民主化と占領政策の転換	▲ 150
文明開化と殖産興業——もたらされた文明・技術	♣ 100	第3部 グローバル化と私たち	
【特集】北海道の開拓とアイヌの人々	102	【時代の展望】第3部 グローバル化①	152
【特集】琉球王国から沖縄県へ	103	【時代の展望】第3部 グローバル化②	154
日清戦争——東アジア変容の序曲	▲ 104	【時代の展望】第3部 グローバル化③	156
日露戦争——引き裂かれる東洋の大帝国	▲ 106	冷戦と核開発・宇宙開発——最先端技術での米ソ対立	♣ 158
【特集】日本の産業革命	108	日本と西ヨーロッパの復興——国際協調と経済発展	■ 160
韓国併合と清の滅亡——日露戦争後の東アジアの変動	■ 110	多極化する世界——「第三勢力」の登場	☆ 162
帝国主義の時代——植民地確保に乗り出した帝国主義諸國	■ 112	東西陣営の変動——歩み寄りや対立の繰り返し	▲ 164
【特集】日本の帝国主義	114	「経済大国」日本——その光と影	▲ 166
第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち		【特集】戦後のアメリカ合衆国	168
【時代の展望】第2部 国際秩序の変化や大衆化①	116	【特集】戦後のソビエト連邦・ロシア	169
【時代の展望】第2部 国際秩序の変化や大衆化②	118	東西冷戦の終結——世界構造の変化	■ 170
第一次世界大戦——世界を二分する戦争	▲ 120	民主化運動の高まり——冷戦終結の影響	● 172
第一次世界大戦と日本——アジアでの大戦の余波	☆ 122	【特集】戦後のアジア	174
ロシア革命——世界初の社会主義国家の誕生	☆ 124	【特集】現代の民族問題と地域紛争	176
ヴェルサイユ体制——戦勝国の描いた平和	▲ 126	【特集】中東戦争とイスラーム復興運動	177
戦間期の東アジア——中国における革命の進展と民族運動	● 128	グローバル化の進展と課題——国際社会の新たな形	♣ 178
戦間期の西・南アジア——民族運動の高まり	▲ 129	巻末	
4 アメリカ合衆国の繁栄——黄金の1920年代と大衆社会の到来	☆ 130	年表	180
日本における大衆社会の成立——大正デモクラシーの政治と文化	☆ 132	索引	190
【特集】女性の政治参加の動き	134	日本の旧地名地図・日本の歴史年表	見返3
世界恐慌とファシズム——「もてる国」と「もたざる国」の分かれ道	▲ 136		
満洲事変と政党内閣の崩壊——日本の中国大陸進出	▲ 138		

世界全図と東アジア全図で見る歴史 | **地域の基礎知識** | **時代の展望**

このコーナーは、「世界全図」と「東アジア全図」で成り立っています。

1 冒頭に設置した SNS 風ページで、生徒を楽しく歴史の学習にいきないます。
(本冊子 p. 18-19 で解説)

2 巻頭にまとめた「世界全図」「アジア全図」で、時期ごとの世界の変化やつながりを確認できます。
(本冊子 p. 14-17 で解説)

3 通史ページの前に「地域の基礎知識」を掲載。近現代史の土台となる風土や前近代史を確認できます。
(本冊子 p. 20-21 で解説)

歴史ツアーズ
通史ページに設置され、資料の読み解きを通して、学習事項の理解につなげる窓口です。

チェック
資料の読み解きを軸とした段階的な問いです。スモールステップで理解を深めることができます。1問目は歴史の知識を前提としない問いかけ、2問目以降で解説に絡む問いかけを配置しています。

特集ページ・コラム他 | **Web掲載コンテンツ** | **インデックス**

4 通史ページは「近代化と私たち」「国際秩序の変化や大衆化と私たち」「グローバル化と私たち」で三つの部に区分。教科書と併用しやすい構成です。
(本冊子 p. 8-13 で解説)

5 各部の冒頭には、テーマごとに日本と世界を概観する「時代の展望」を掲載。導入や「問いを立てる」授業に最適です。
(本冊子 p. 6-7 で解説)

全図インデックス
見開きの左側に設置した、扱っている時代に対応する世界全図ページを示すインデックス。

地域インデックス
各見開きの左側に設置した、扱っている地域を示すインデックス。同地域の前後の時代を扱うページも示しています。

全体構成

基本特色

注目ページ

デジタル



時代の展望：各部冒頭のテーマ史ページ

- 各部の冒頭には、「近代化」「国際秩序の変化や大衆化」「グローバル化」について、テーマごとに日本と世界を概観・比較できるページ「時代の展望」を設置しています。
- テーマは、歴史総合の学習指導要領で「問いを立てる」際に求められているものを使用しています。

頁	部	テーマ一覧
p.48-53	第1部「近代化と私たち」	「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加や国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」
p.116-119	第2部「国際秩序の変化や大衆化と私たち」	「国際関係の緊密化」「アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭」「生活様式の変化」「植民地の独立」「大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化」
p.152-157	第3部「グローバル化と私たち」	「冷戦と国際関係」「高度情報通信」「人と資本の移動」「感染症」「多様な人々の共存」「食料と人口」「資源・エネルギーと地球環境」

▼ p.50-51 時代の展望 第1部 近代化②

導入の概説

・見開きで取り上げたテーマに関して、その背景や世界と日本の関係を概観できます。

テーマ年表

・年表で、テーマごとの日本と世界の動きを一望できます。

50
時代の展望
第1部 近代化②
51

1 テーマ 権利意識と政治参加や国民の義務／学校教育

近代化とは、基本的人権などの権利が、憲法などで社会のしくみとして保障されている点が挙げられる。基本的人権などの考えは、ロックやルソーなどが唱えた啓蒙思想によって、人々に広く認識されるようになり、フランス革命では人権宣言として表わされた。ルソーらは、そのような社会を個人を育成するために教育の重要性も論じ、フランス革命以降、公教育の制度も整えられていった。公教育の充実も、世界各国にも影響を与え、日本も、1874年にフランスを参考にした学制をした。その後、日本では数度教育政策の改訂が行われ、89年に大日本帝国憲法が発布されると、憲法が目指す「国民」を形成するための公教育の制度が整えられていった。

比較しやすい資料配置

・世界と日本それぞれについて、内容が近い資料を並べています。
・共通点や相違点を見つけることで、生徒の「なぜ」を引き出し、問いを立てる学習に活用できます。

読み解きを促す解説文

・「時代の展望」内の資料解説文は、各資料の着目すべきポイントや、そこから得られる情報を中心とした内容にしています。資料を読み解く視点が養われます。

1 「権利意識と政治参加」の日本と世界の様子を確認しよう

世界の動き

★ 自由権の闘い (1789年) 絵画中央の人物に着目すると、手を挙げながら何かを訴えている。その主たる内容は国民の権利を守る憲法の制定であるが、周囲の人々に視点を移すと強く賛同している様子が見られる。参加する人々の服装も見てみよう。すると、聖職者や貴族の参加も確認できる。彼らが重視したのは身分ではなく、人間の自由や、権利の平等だったのだ。そしてその理念は、人権宣言に表れている。

フランス革命

1789年 人権宣言の採択

1792年 世界初の男子普通選挙

1795年 公教育組織法施行 (公教育の始まり)

1807年 プロイセン教育改革 (時間制などの教育制度)

1832年 第1回選挙法改正

1850年 プロイセン制定憲法施行

1867年 第2回選挙法改正

日本の動き

18世紀ごろ 寺子屋の隆盛

18世紀半ば～19世紀半ば 藩校の増加

1867年 大政奉還

1870年 初等教育法

1871年 第1回帝国議会

1873年 徴兵令

1874年 学制の公布

1879年 大日本帝国憲法発布

1884年 第3回選挙法改正

1890年 教育勅語、義務教育始まる

1900年 小学校の義務教育無償化

1904年 日露戦争

近代化を目指す日本

● 民権論議院設立建白書 (1874年) 我々が考えてみると、現在の政權を握っているのは、上の天皇でも、下の人民でもなく、ひとえに政府の官署なのである。政府の命令はさまざまなことが多くて変更され、政治は情実で動き、貴族は個人的な感情で決定されており、言論の自由はなく、苦情を訴える方法すらない。一このひどい状態を打開する道を追求すれば、それは天下の人民が議論を行うことしかあり得ない。そして、このように広く議論を行うには、民権による議院をつくる以外にない。

● 演説会 (1890年代)と 議院議員立憲白書 弁士の演説に対する反応を確認しよう。近くの演説は、弁士に新しい視線を向け、聴衆を制している。一方聴衆は弁士に喝采をしつつ、演説に抗議している。では、弁士はどのような演説を行っていたのだろうか。史料①では、政權は政府の官署、つまり官制出身者が貴族、人々に権利がないことを批判している。この時代に展開された自由民権運動は、民衆の期待と監視による弾圧が並行しながら広まっていった。

● 大日本帝国憲法 第3条 天皇は神聖にして侵すべからず
第4条 天皇は国の元首にして統治権を総攬し、この憲法の条規に従って日本を治める
第29条 日本国民は法律の範囲内において言論・著作・発行・集会・結社を行う自由をもつ
第33条 議会は衆議院と貴族院をおく
第34条 貴族院は貴族院令で定められた皇族・華族と天皇に任命された議員で組織する
第35条 衆議院は選挙で選ばれた議員で組織する
第37条 すべての法律は議会の賛成がないと決めることはできない
第49条 両議院は天皇に意見を伝えたり、報告したりすることができる

● 人権宣言と 大日本帝国憲法 権利の所在に着目しよう。史料①では、人権は譲渡できないものとして示される。一方史料②では、人々は天皇の臣下を意味する臣民と表現され、権利は法律の範囲内が前提である。

2 「学校教育」の日本と世界の様子を確認しよう

世界の動き

● 家庭での教育 (18世紀) 女性がペンや片子に、子どもに向かって語りかけている。表情に注目すると、どちらも真面目な様子だ。ヨーロッパの上流階級は、このような家庭で読み書きを習っていた。

日本の動き

● 寺子屋の授業風景 美に描かれる指導者に対し、視線は集まっているだろうか。見てみると、年齢の異なる子どもたちがそれぞれがじつじつと自由な取り組みをしていることが分かる。このような態に応じた学びの場が、江戸時代に存在していた。

● 1908年(明治41)年の小学校の授業風景 図②とも比べながら教室の様子を確認しよう。教師による黒板を用いた授業、同じ等距離からなる生徒が机に教科書を置いて学習する様子は、およそ共通する。日本でも教育制度が整備され、近代化の道を歩んでいることが分かる。

● 識字率の推移 線グラフの地点は、1873年である。日本ではこの前年に学制が公布され、国民学校が目指されていった。その過程からは徐々に男女間の隔たりが目立つようになる。これが大きく改訂される時期に着目すると、義務教育無償化の影響を捉えることができる。やがて日露戦争後は、全体で97%を越えた。

年	1853年	1863年	1873年	1883年	1893年	1903年
小学校児童数	39.2	79.7	167.9	327.3	422.6	517.7
6～12歳人口	320.4	356.0	410.6	475.8	529.5	546.3
識字率(%)	12.3	22.4	40.9	68.9	79.8	94.8

● イギリスの子どもの数と識字率の推移 (単位: 万人)

通史ページのご紹介①：導入とまとめ

- 通史ページは、導入の資料読解「ヒストリーツアーズ」と、見開きのまとめ「○○の視点から振り返ろう！」で構成しています。
- それぞれ、二択問題などの取り組みやすい問題で構成しています。楽しく着実に見直し・振り返り学習ができます。

▼ p.92-93 第1部 日本の開国



導入の資料読解

- ・目をひくタイトル、大きな資料、取り組みやすい問題で、楽しく学習を始められます。
- ・問いの「チェック」は、スモールステップで少しずつ難しく・深くなる構成です。無理なく資料読み解きに取り組み、資料活用能力を養えます。
- ・最後の「チェック」は、見開きのテーマに繋がる問いとなっており、授業の導入に使いやすい内容です。

ページ内の各種資料

- ・写真・風刺画・文章史料・年表・グラフ・地図・新聞など、さまざまな資料を掲載しています。
- ・多くの見開きに年表を掲載しているので、時代の流れをつかめます。

92 日本の開国 — 黒船来航と自由貿易の始まり

ついに現れたアメリカの艦隊!

日本に來航したペリーの艦隊 1853年、ペリーの率いる4隻の戦艦からなる艦隊が湾中に來航した。ペリーの一行は、フィルモア米大統領の国書を渡すべく、開国を要求した。(横濱市中央図書館蔵)

ペリーの艦隊は、幕府側からどのような態度を示しているのだろうか。

この艦が示すペリー来航の様子について、正しいのはどちらだろうか。

ペリーが日本に上陸したうえで、お互いに関係を築こうとしている。お互いに関係を築こうとしている。

1 開国までの流れ

年	出来事
1844	オランダ国王、幕府に開国を勧告。幕府は「鎖国を維持」を理由に拒絶。
1846	ビッドル(アメリカ東インド艦隊司令長官)浦賀来航。幕府は通商要求を拒絶。
1853	ペリー(アメリカ東インド艦隊司令長官)浦賀に來航。久松義典(米大統領フィルモアの国書を提出) 阿部正弘、開国に賛同した大名に密命
7	ブチャーン(ロシア使節)、長崎に來航
8	幕府代官江川太郎左衛門、島田台場の築造開始
9	幕府、大船建造の禁を解く
10	安政の改革
1854	ペリー再び來航。幕府と交渉へ
1854	日米和親条約(神奈川条約)締結
1857	イギリス艦隊、長崎に來航
10	ブチャーン、下田に來航
12	日米和親条約締結
1855	フランス艦隊、下田に來航
7	幕府、長崎に海軍伝習所を設立
1856	アメリカ艦隊ハリス、下田に來航
1857	松平慶永ら、一橋慶喜を将軍継嗣にするよう幕府に建議
1858	ハリス、通商条約を求め江戸城に登城。将軍家定に米大統領の国書提出
1858	阿部正弘、通商条約の締結を求めて上洛(3月、孝明天皇が勅許を拒否)
6	日米修好通商条約を調印(無効時) 徳川慶喜(元伊予守)を將軍継嗣に決定(14代幕政)
7	幕府、外国奉行を設置
7-9	蘭・葡・英・仏とも通商条約締結(安政の五カ国条約)
9	安政の大船始まる(〜59)
1860	1 外国奉行新設(長崎)から条約批准のため直米 新海防から艦隊で運米 2 松田村外の夏(井伊直正参府)

2 条約の締結

日米和親条約	日米修好通商条約
調印 1854(安政1)年3月3日	調印 1858(安政5)年6月19日
締結者 日本-真田喜久雄、米-ペリー	締結者 日本-真田喜久雄、米-ハリス
・開港地 下田・函館の2港 (+横濱開港後、下田は閉港)	・開港地 神奈川・横浜・新潟・兵庫の4港・開港地の自由貿易 (開港の範囲は神奈川・横浜・兵庫・神戸)
・燃料・食料などの供給	・開港地に居留地を設置
・片務的船隻運送時 渡航料の免除	・江戸・大阪の開港
・片務的船隻運送時 渡航料の免除	・片務的船隻運送時 渡航料の免除
・開港地の特権 相手国に認められた内容よりもよい条件や特権を相手国に認めさせた。自動的に相手国に認められた。本来は片務的(一方のみ)ではなく、相互に認め合ふ	・関税自主権の行使(協定期間) 関税の税率を自主的に決める権利がなく、相手国の同意が必要 (関税) 輸入品に付する税金のこと
・下田に領事駐在	・領事裁判権の承認(治外法権) 日本でのアメリカ人の犯罪は、米領事官が米国の法律で裁く
1855年までにイギリス・ロシア・オランダとも類似の条約締結	1858年中にオランダ・ロシア・イギリス・フランスとも類似の条約締結

More ペリーが開国を要求した理由

1848年のアメリカ-メキシコ戦争でカリフォルニアを獲得し、太平洋西岸に到達したアメリカは、太平洋を横断してアジアへの進出を目指すようになった。アヘン戦争の結果、清は開国されたことで、清を目指す太平洋航路の需要が高まっていたが、日本の近海を通るその航路の安全保障のためには、日本や琉球王国の開国が不可欠だった。また、当時のアメリカは工業の発展に力を入れている。北太平洋でのマッコウクジラの捕鯨を奨励していた。その燃料や食料、水の確保のための捕鯨船としても、アメリカは日本の開国を強く望んでいた。

アメリカ人による捕鯨の様子

自由と制限の視点から振り返ろう！：見開きのまとめ

- ・二択問題で、見開きの学習内容を簡単にまとめられる構成です。
- ・歴史総合の学習指導要領で示されたまとめの5つの観点(自由と制限:●、平等と格差:★、開発と保全:♣、統合と分化:■、対立と協調:▲)のいずれかから振り返ります。
- ・部のまとめ学習でもご活用いただきやすいよう、もくじにも観点を示すアイコンを付けております。(もくじのアイコンは本冊子 p.5 で解説)

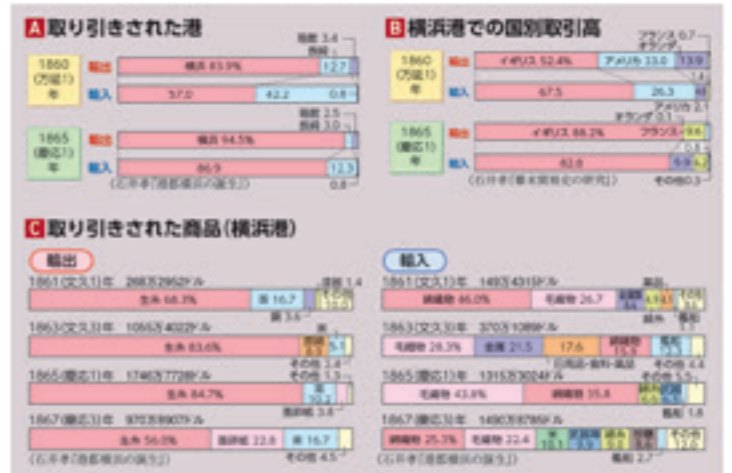
93 日本の開国

3 日本の開国

開港の様子(1860年) 港の外で待つ本船に、小舟が荷物を運ぶ様子が見られる。手前にはアメリカ国旗が掲げられているが、アメリカ船はこの年に勃発した南北戦争の影響で来航しなくなった。

生糸の品質を調べる職人の様子 当時の生糸の最大輸出国が、アヘン戦争後に輸出量を減らしたことで、日本からの生糸の輸出が増えた。開国から輸出まで、生糸は日本の主力輸出品となった。

4 貿易の特徴と問題点



世界中の日本

世界中で欲しがられた「蚕糸紙」

蚕糸紙とは、生糸の原料となる蚕(繭の一種)の繭を糸に加工して作られた製品である。当時のヨーロッパでは、養蚕が盛んに行われていた。蚕糸紙の需要が非常に大きかったため、各国は蚕糸紙の生産を奨励していた。開国後、幕府がフランスに蚕糸紙の輸出を許可したことによって、蚕糸紙の輸出が盛んになった。

開港後の欧米諸国との貿易

開港後の欧米諸国との貿易 開港後の大部分を横濱が占めたのは、大消費地の江戸や、生糸の産地である関東・中部、また茶の産地である静岡が近隣にあるためである。輸出品は、生糸や茶、扇などを中心とした。一方、機械生産による安価な絹織物が大量に輸入され、国内の絹織物業は打撃を受けた。

自由と制限の視点から振り返ろう！

条約の締結によって幕府は開国し、欧米諸国は日本人と(日本全国へ)貿易(自由)で(自由)に(一部の品々のみ)貿易を行えるようになった。これにより(絹糸・生糸)などが大量に輸出され、その結果国内の絹織物(上流・下流)した。

全体構成

基本特色

注目ページ

デジタル

通史ページのご紹介②：動画と左右のインデックス

- 各所に動画を視聴できる二次元コードを掲載。より楽しく歴史学習を進められます。
- 見開き左端には「全図・地域インデックス」を、右端には「時代インデックス」を設置。学習をしている地域・時代が一目でわかります。

二次元コード動画

- ・二次元コードを読み込むと、当時の様子がわかる動画を再生できます。
- ・授業でも扱いやすいよう、最長1分程度にしています。

頁	動画一覧 (全15点)
巻頭1	アメリカ赤十字社でのマスクの生産
p.120	サラエヴォ事件
p.121	第一次世界大戦
p.124	ロシア革命
p.129	塩の行進
p.131	1920年代のアメリカ
p.136	世界恐慌
p.137	ドイツでのファシズム台頭
p.143	太平洋戦争開戦 (真珠湾攻撃)
p.148	「鉄のカーテン」演説
p.149	「ベルリンの壁」の建設
p.165	ベトナム戦争
p.168	キング牧師の演説
p.171	「ベルリンの壁」の開放
p.172	文化大革命

全図・地域インデックス

- ・上部の全図インデックスから、対応する時期の「世界全図」(本冊子 p.14-15 で解説)を開くことができます。
- ・その下の地域インデックスで、見開きで扱う地域が一目でわかります。また直前・直後へのリンクにより、地域ごとの通史を確認できます。

時代インデックス

見開き右端の時代インデックスは、巻末の日本史年表の位置と対応します。見開きの内容と中学校で学習した日本の歴史を結びつけられるので、生徒にとって時間軸がわかりやすくなっています。

▼資料集 p.131 右端



▼巻末 日本史年表

14	第一次世界大戦に参戦
15	日本、中国へ二十一ヶ条要求
18	シベリア出兵 米騒動
23	関東大震災
25	男子普通選挙制の実現 治安維持法の制定
31	満洲事変
32	五・一五事件
36	二・二六事件
37	日中戦争
41	太平洋戦争
45	原子爆弾の投下、ポツダム宣言受諾

▼ p.130-131 第2部 アメリカ合衆国の繁栄

130 アメリカ合衆国の繁栄 —黄金の1920年代と大衆社会の到来

憧れの“American Way of Life (アメリカ的生活様式)”

▼ 洋風の仕立てをする家族 アメリカの繁栄の中で、華やかな洋風に仕立てられた家族がニューヨークなどの都市部に流入し、スラム街を形成した。一方でヨーロッパ系白人は自動車などを所有し郊外へと転出する動きが加速した。

▼ 憧れの“アメリカ的生活様式”は誰にも、どちらの暮らしだろう。憧れの生活はラジオで聞いただけで考えられるだろうか。p.131を見てみよう。①音楽やスポーツなどの大衆的な娯楽 ②他人的・専門的な知識の消費 ③移民ほどのような生活に憧れてアメリカにやって来たのだろうか。

2 繁栄するアメリカ

ドイツ 輸出 輸入
イギリス フランス イタリア 輸出 輸入

輸出 37億ドルの債権国
輸入 132億ドルの債権国

アメリカの債権国
カナダ・ラテンアメリカなど

▼ 債権国から債権国へ 戦前、世界有数の債権国であったアメリカは、戦後は一転、債務の国々に資金を貸し、世界最大の債権国として世界経済の中心となった。

131

▼ エンパイアステートビル 1920年代に建設が決まり、1931年に完成した。102階建てのビルは当時、世界一の高さを持った。

▼ 1920年代のニューヨーク

戦間期のアメリカの歩み

1903 パナマから運河地帯の永久租借権を獲得

1908 ヴォルソール法 (1908-13)

1914 第一次世界大戦に中立を宣言

1915 クラーク・ワグネル (KKK) 復活

1916 アメリカは独逸軍から債権国に転換

1917 アメリカ、ドイツに宣戦 (~18)

1918 14か条の平和原則発表

1919 禁酒法成立 (13禁止)

20 女性参政権

イタリア系移民のサッコ・ヴァンゼッティ事件 (7死刑)

「孤立主義」外交 (国連参加不参加)

ラジオ放送開始

ハーディング法 (1919-20) 「平和の復興」

21 ワシントン会議 (~22)

22 クーリング法 (1920-25)

24 ドーズ案発表

移民法実施 → ヨーロッパ移民は制限、アジア系移民は事実上禁止

①ボパへの流行

27 リンドバーグ、大西洋横断飛行に成功

ジュネーブ海軍軍縮会議

②株式ブーム (~28)

28 不審乗客のロッキンギアリアン船中

フーヴァー法 (1920-21)

29 シカゴのギャング戦争 禁酒法

ウォール街で株価大暴落 → 世界恐慌

31 フーヴァーモラトリアム

フランクリン・ローズヴェルト法 (1933-41)

33 ニューディール (AAA・TVA・NIRAなど) 開始

1 保守化する国内の社会状況

国外主義の台頭

JAPS KEEP MOVING
A WHITE MAN'S NEIGHBORHOOD

▼ クラーク・ワグネル (KKK) の復活 フラック (WASP) が白人の優位を守るために組織した秘密結社。1915年、反黒人・反移民・反社会主義を掲げて復活し、1920年代に急成長した。* WASP (White Anglo-Saxon Protestant)

▼ 日本人移民の排斥 19世紀以降、日本からアメリカに渡来する移民が増加し、農業や林業などに従事した。1924年に排日移民法によって日本人移民が禁じられると、アジア系移民を排斥する動きが強まった。

犯罪組織の拡大

ギャングの帝王 アル・カポネ (1899-1947)

1920年代のアメリカで、黒の経済を支配したのがギャングである。その代表であるシカゴのアル・カポネは、酒の密造・密売で巨額の利益を上げ、自動車とマシンガンをも所有して勢力を拡大した。

▼ 下水道に捨てられる酒 1919年に成立した禁酒法では、酒類の製造・販売・消費が禁止された。禁酒の推進には、ワグネルの保守的で宗教的な思想が深く関わっていた。

3 大衆の出現と娯楽

大衆生産・大衆消費

▼ 目にあふれる広告 戦後、アメリカ経済の発展によって国民の所得が増加し、購買力が高まった。企業は生産責任の革新を行い商品の生産数を増やすとともにマスメディアや看板・ポスターを活用してさまざまな商品宣伝を行い、消費者の購買意欲を刺激して大衆生産・大衆消費社会を築いた。

▼ 車の普及台数・所有世帯の割合 1920年代に自動車産業が急進的に発展し、馬車に代わる移動手段として普及した。自動車はアメリカ経済のみならず社会生活に大きな影響を及ぼした。

▼ T型フォードの生産 フォード社はベルトコンベアによる流し作業で効率的に同じ自動車を組み立てる生産ラインを考案し、大衆にとって手が届く価格の自動車を販売した。

ショービジネス・娯楽の登場

▼ 映画「モダンタイムス」 1920年代、大衆娯楽として映画が発達し、映画産業が中心となったハリウッドは世界の映画産業の中心となった。写真は、当時活躍した喜劇俳優チャップリン。

▼ ジャズの流行 黒人音楽から発展して即興演奏を特色とするジャズが、自由な都市生活を求める若者を中心にダンス音楽として流行し、アメリカの代表的音楽となった。

▼ 国民的ヒーローの登場

▼ ペーパームースとリンダバーグ マスメディアの発達によって全米でプロ大衆スポーツの人気が高まった。ニューヨーク・ヤンキースのペーパームースは最高の強打者として、リンダバーグはニューヨーク・パトリオットの無敵大活躍飛行の成功者として、新米で全米に若くは、国民的英雄となった。

▼ 平等と格差の狭間から振り回ろう! ()内の正しい方に○をつけよう!

繁栄の時代を迎えた1920年代のアメリカでは、(国連・大衆) 社会が形成され、泡盛等の新消費財などを購入するアメリカ的生活様式が広がり、チャンスをつかもうと多くの人が集まったが、(WASP・黒人・移民) は利益から取り出せず、都市部にスラム街を形成した。KKKなどによる排外的な動きも目撃された。

全体構成

基本特色

注目ページ

デジタル

通史ページのご紹介③：学習を深める三つのコラム

- 「世界の中の日本」「MORE」「人物コラム」の三つのコラムを各所に掲載しています。
- ページの内容をより深めたり、別の視点から見たりする内容としています。生徒の歴史への興味を引き出し、学習内容の理解を深めます。

世界の中の日本

・見開きの内容に関し、日本との関連や日本が特に世界に与えた影響などを掘り下げるコラムです。

・世界史的内容が中心となる見開きにも随所に掲載しています。日本の出来事が世界との関連のなかで起こったことなどが実感できます。

頁	「世界の中の日本」コラムの一例
p.59	西洋に衝撃を与えた浮世絵
p.71	ナポレオン戦争の影響
p.90	ラッコがよんだロシア船!?
p.122	日本に初めて響いた「第九」
p.141	ナチス＝ドイツと大政翼賛会
p.164	日中関係の改善とパンダブーム
p.167	日本の政府開発援助（ODA）事業

MORE

・各見開きの内容を深めるコラムです。

・多様な視点から書かれた内容で、多面的・多角的な見方を育みます。

頁	「MORE」コラムの一例
p.65	サロンにみる女性の活躍
p.77	「シャーロック＝ホームズの冒険」
p.114	「蛍の光」にみる領土意識
p.127	初めて戦争を違法化した「不戦条約」
p.143	「パールハーバー・アーカイブ」
p.175	揺らぐ中国の一国二制度
p.179	環境問題とSDGs

p.158-159 冷戦の展開と核

158 冷戦と核開発・宇宙開発 — 最先端技術での米ソ対立

止まらない追いかけあい!

1945年 第二次世界大戦の終結
1949年 中国共産党の成立
1955年 北大西洋条約機構(NATO)の発足
1955年 華沙条約機構の発足
1962年 キューバ危機
1963年 核実験禁止条約(NPT)の発効
1979年 中東戦争勃発
1985年 冷戦終結
1991年 ソ連の崩壊
1991年 米ソ間の冷戦終結
1995年 核実験禁止条約(NPT)の発効
1995年 米ソ間の冷戦終結
1995年 核実験禁止条約(NPT)の発効

1945年 第二次世界大戦の終結
1949年 中国共産党の成立
1955年 北大西洋条約機構(NATO)の発足
1955年 華沙条約機構の発足
1962年 キューバ危機
1963年 核実験禁止条約(NPT)の発効
1979年 中東戦争勃発
1985年 冷戦終結
1991年 ソ連の崩壊
1991年 米ソ間の冷戦終結
1995年 核実験禁止条約(NPT)の発効
1995年 米ソ間の冷戦終結
1995年 核実験禁止条約(NPT)の発効

1 軍備拡張競争と核兵器の恐怖

水爆実験が人々の心に与えた影響

原水爆実験に批判の声が上がり始めるなか、日本の映画人たちは水爆実験を題材にした映画『ゴジラ』をつくり出す。東京を襲った放射能を発生するゴジラと、それに立ち向かう新東宝。映画からは、人類の科学が踏み出してしまったゴジラを近代兵器で倒そうとする人間の愚かさ、そして核兵器開発競争への警告が感じられる。この他にも、冷戦期の日本のアニメや漫画には、『風の谷のナウシカ』『北斗の拳』など核兵器への批判や核戦争後を恐るる民衆の世界を描くものも多い。

核実験禁止条約(NPT)と部分的核実験禁止条約(CTBT)

核実験禁止条約(NPT)	部分的核実験禁止条約(CTBT)
<ul style="list-style-type: none"> 保有国(米ソ中仏)が他国へ核兵器を譲渡することを禁止 非保有国の核兵器製造と取得を禁止 2021年現在 114か国・地域が加盟 インド、パキスタン、イスラエル不参加 2003年に北朝鮮が脱退 	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙空間、大気圏内、水中、地下を含むあらゆる空間での核兵器の爆発実験を禁止 2021年現在 115か国が加盟 1700か国批准 アメリカ、中国など 150か国批准 北朝鮮、インド、パキスタン不参加

核開発と軍備管理の歴史

年	出来事	備考
1945.8	広島と長崎に原子爆弾(原爆)投下	軍事への警告
48.9	ソ連、最初の原爆実験	
52.10	イギリス、最初の原爆実験	
53.8	ソ連、水爆保有宣言	
54.3	アメリカ、水爆実験(ビキニ二島)→第五福丸丸事件	
55.7	ラッセル-アインシュタイン宣言(核実験を断絶)	
55.8	日本、第1回原水爆禁止世界大会開催(広島)	
57.7	バグウォッシュ会議(原爆に関する科学者会議、以降定期開催)	
57	国際原子力機関(IAEA)発足	ソ連、大気圏外弾道ミサイル(ICBM)開発
60.2	フランス、最初の原爆実験	
62.10	キューバ危機	
63.8	部分的核実験禁止条約(PTBT)締結	
64.10	中国、最初の原爆実験	
66.7	核実験禁止条約(NPT)締結	
68	フランス、水爆実験	
72.5	米ソ、第1次戦略兵器削減交渉(SALT I)締結	
74.5	インド、最初の核実験	
79.6	米ソ、SALT II締結	
87.12	米ソ、中距離核戦能力(INF)全廃条約締結	
89.12	米ソ首脳、マルタ会談で冷戦終結を確約	
91.7	第1次戦略兵器削減条約(START I)締結	
93.1	START II締結(ブッシュ・クリントン両大統領)	
96.9	部分的核実験禁止条約(CTBT)採択	
98.5	インド、パキスタンが核実験	
2006	北朝鮮、核実験を発表	
10.4	インド、新核実験(START II)締結	
18.10	米、INF条約の廃棄を表明→19年にも条約失効	

世界の中の日本

水爆実験が人々の心に与えた影響

原水爆実験に批判の声が上がり始めるなか、日本の映画人たちは水爆実験を題材にした映画『ゴジラ』をつくり出す。東京を襲った放射能を発生するゴジラと、それに立ち向かう新東宝。映画からは、人類の科学が踏み出してしまったゴジラを近代兵器で倒そうとする人間の愚かさ、そして核兵器開発競争への警告が感じられる。この他にも、冷戦期の日本のアニメや漫画には、『風の谷のナウシカ』『北斗の拳』など核兵器への批判や核戦争後を恐るる民衆の世界を描くものも多い。

核実験禁止条約(NPT)と部分的核実験禁止条約(CTBT)

核実験禁止条約(NPT)	部分的核実験禁止条約(CTBT)
<ul style="list-style-type: none"> 保有国(米ソ中仏)が他国へ核兵器を譲渡することを禁止 非保有国の核兵器製造と取得を禁止 2021年現在 114か国・地域が加盟 インド、パキスタン、イスラエル不参加 2003年に北朝鮮が脱退 	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙空間、大気圏内、水中、地下を含むあらゆる空間での核兵器の爆発実験を禁止 2021年現在 115か国が加盟 1700か国批准 アメリカ、中国など 150か国批准 北朝鮮、インド、パキスタン不参加

核実験禁止条約(NPT)と部分的核実験禁止条約(CTBT) それぞれ、核兵器を管理し縮小しようとする条約である。しかしNPTでは米ソ中仏の5か国だけが保有と開発ができることに批判が起こり、CTBTでは米ソ中仏が批准しなかったこと、1998年には非保有国であったインドやパキスタンが核実験に成功したこと、北朝鮮が2006年以後核実験を繰り返していることなどの問題が起こっている。また1967年米ソで結ばれた中距離核戦能力(INF)全廃条約はアメリカが2018年に廃棄を表明した。

人物コラム

- ・見開きの時期に活躍した人物に焦点をあてたコラムです。
- ・エピソードの紹介などにより、生徒の興味を引き出します。

頁	人物コラムの一例	頁	人物コラムの一例
p.68	ゲージュー	p.128	魯迅
p.95	グラバー	p.139	高橋是清
p.108	五代友厚と渋沢栄一	p.168	ケネディ
p.115	山辺安之助	p.172	鄧小平

p.124 「ロシア革命」より

スターリン

ソ連の指導者として知られるスターリンは、ソ連の工業化と軍事力の増強に貢献した。彼は1929年から1953年までソ連の最高指導者として在任した。その厳格な統治と大規模な粛清は、ソ連の歴史に深く刻み込まれている。

キューバのミサイル基地

社会主義革命を行ったキューバはソ連と武器提供協定を結び、1962年にはソ連軍でミサイル基地が建設された。この基地はワシントンやニューヨークをその射程圏内に覆っていることから、アメリカにとって非常に脅威となった。アメリカはキューバの海上封鎖を行い、米ソが衝突寸前の状態となった(キューバ危機)。ソ連のフルシチョフの要請で、ケネディがキューバへの空襲を断念したことでミサイルが撤去された。こうして、人類は核戦争の恐怖を回避できた。

アメリカとキューバの位置関係

1962年、キューバにソ連のミサイル基地が建設された。この基地はワシントンやニューヨークをその射程圏内に覆っていることから、アメリカにとって非常に脅威となった。アメリカはキューバの海上封鎖を行い、米ソが衝突寸前の状態となった(キューバ危機)。ソ連のフルシチョフの要請で、ケネディがキューバへの空襲を断念したことでミサイルが撤去された。こうして、人類は核戦争の恐怖を回避できた。

MORE アインシュタインと核の廃止

1905年に特殊相対性理論を発表し、古典物理学体系を完成させたドイツのユダヤ人物理学者アインシュタインは、ナチスのユダヤ人迫害から逃れるため1933年にアメリカに移住した。彼は1939年、ナチスの科学者が原子爆弾を開発することを恐れ、アメリカが先に開発することを大規模に警告する書翰に署名した。この書翰が、アメリカでの原子爆弾開発へとつながっていった。しかし彼は、広島への原子爆弾の投下による被害を受け、「われわれは戦いに勝利したが、平和まで勝ち取ったわけではない」と哀嘆し、戦後は一貫して核兵器禁止運動に取り組んだ。1955年に科学者たちと署名したラッセル-アインシュタイン宣言は、世界的な核軍縮運動のきっかけの一つとなった。

ラッセル-アインシュタイン宣言

私たちは、将来起こり得るいかなる世界戦争においても核兵器は必ず使用されるであろうという事実、そして、そのような兵器が人類の存続を脅かしているという事実に基づき、世界の諸政府に対し、世界戦争によれば自分たちの目的を達することはできないと認識し、それを公に認めることを強く要請する。また、それゆえに私たちは、世界の諸政府に対し、彼らの限りのあらゆる紛争問題の解決のために平和的手段を見いだすことを強く要請する。

2 宇宙開発競争 ~冷戦のもう一つの舞台

人類初の有人宇宙飛行を行ったソ連のガガーリン

ソ連は1957年に世界初の人工衛星「スプートニク1号」の打ち上げに成功し、1961年には人類初の有人宇宙飛行を成功させた。これらのニュースはアメリカに大きな衝撃を与えた。宇宙開発の技術はミサイルなど軍事への転用が可能なることもあり、米ソは宇宙開発競争も激化した。

アメリカのアポロ11号による月面着陸

宇宙開発でソ連に先行されたアメリカは、科学技術での優位性を取り戻そうと積極的に宇宙開発技術の研究を進めた。1969年に打ち上げたアポロ11号は月面着陸を達成、ソ連に先がけて月に人類を送り込むことに成功した。

米・ソの宇宙開発競争

年	出来事
1957.10	ソ連、初の人工衛星打ち上げ(スプートニク1号)
57.11	ソ連、初の地球周回軌道への打ち上げ(スプートニク2号)
58.1	アメリカ、初の人工衛星打ち上げ(エクスプローラー1号)
61.4	ソ連、初の月面探査機を打ち上げ(ルナ2号)
61.4	ソ連、初の有人宇宙飛行(ボストーク1号)
65.3	ソ連、人類初の宇宙遊覧(ボストーク2号)
68.7	アメリカ、人類初の月面着陸(アポロ11号)
71.4	ソ連、世界初の宇宙ステーションを完成させる(サリュート1号)
71.11	アメリカ、衛星を火星の周回軌道へ投入(マリナー9号)
75.7	初の米ソ合同ミッション(アポロ・ソユーズテスト計画)

世界の中の日本

宇宙開発と日本人

米ソの宇宙開発は徐々に日本に伝わり、人々は宇宙への憧れを抱いた。アポロ11号の月面着陸は情報通信技術の発達もあり生々しく放送され、新テレビで見る人も多く、日本での視聴率は50%を越えたといわれる。またこの時に持ち帰られた「月の石」は1972年の大阪万博で展示され観客を驚かせた。日本も研究や産業用を中心に宇宙開発を進め、人工衛星の打ち上げや衛星探査などで成果を上げている。

月面着陸の中国を驚かせた日本人

1969年、中国は初めて月に人類を送り込むことに成功した。

開発と保全の両方から取り組もう!

米ソの宇宙開発競争は世界に核戦争の危機をもたらしたが、代替エネルギーとしての原子力発電やアポロ計画などの(衛星通信、宇宙開発)にも大きな役割を果たした。一方(水爆・ロケット)実験が行われたビキニ二島爆撃やミサイル基地建設などの自然破壊や核実験地の汚染、宇宙ゴミ問題など、各国の富強や環境維持が課題である。

巻頭地図①：世界全図

- 巻頭には、世紀ごとの「世界全図」を設置しています（20世紀のみ半世紀ごと）。
- 通史ページの全図インデックス（本冊子 p.10 で解説）から、その時期の「世界全図」へとアクセスできるので、通史学習の中でも活用しやすくなっています。

頁	世紀	サブタイトル
p.2-3	16世紀ごろ	一体化し始める世界
p.4-5	17世紀ごろ	「危機」の時代の到来とその対応
p.8-9	18世紀ごろ	本格化するヨーロッパのアジア進出
p.10-11	19世紀ごろ	世界支配を目指すイギリス
p.14-15	20世紀前半	世界を覆う2度の大戦
p.18-19	20世紀後半	東西両陣営の対立

「世界の動きと日本」

全図の時期について、世界の動きに日本がどのように関連していたのかを確認できます。

▼ p.10-11 19世紀ごろの世界

「時代の概観」と国際関係図

- ・「時代の概観」では、その時期における歴史の流れを解説しています。
- ・また、世界の動きや関係性を端的に理解できる国際関係図も掲載しています。
- ・両者を参照することで、地図中の注目すべきポイントがわかります。

10 19世紀ごろの世界

世界支配を目指すイギリス

イギリスは、産業革命と植民地の拡大によって「世界の工場」とよばれる経済力を獲得し、世界に大きな影響を与えた。また、イギリスは、インド帝国の建設や、アヘン戦争などの戦争を伴うアジア支配を進めた。ヨーロッパ諸国では、フランス革命後、自由主義やナショナリズムの思想が広がり、革命や国内改革が行われた。領土を拡大するアメリカは、太平洋・アジアへの進出を図った。一方、アヘン戦争に敗れた清や開国した日本では、国内の改革や体制の変革への動きが進んだ。



11 世界の動きと日本

アヘン戦争による清の敗北は、イギリス・フランスのアジア進出を加速させた。また、太平洋からアジアへの進出を図るアメリカも動きを活発化させた。ペリー来航をきっかけにした日本の開国は、江戸幕府の崩壊と明治維新による明治政府の成立につながった。皇帝による支配を維持しつつ国内の改革を進めた清と、政治体制の転換と近代化を進めた日本との間で日清戦争が起こり、日本が勝利した。

結びつく世界

- ・全図の時期の中心となるトピックについて記しています。
- ・世界全体を見渡す広い視点をもつことができます。

結びつく世界

「世界の工場」イギリス

産業革命をなしとげたイギリスは、ほかのどの国よりも大量に安い製品を輸出できたため、世界最大の工業国となり「世界の工場」といわれた。イギリスは、アジアをはじめ、世界各地に進出し、自国の製品の輸出地や、食料・原料の供給地として取り込んでいった。●p.74

イギリスの海運を支えた鉄製の蒸気船

蒸気機関による蒸気船と汽笛で進行した。

イギリス領カナダ (1763)

アメリカ合衆国 (1776)

メキシコ (1821)

ブラジル (1888)

アルゼンチン (1816)

フィリピン (1898)

インド (1858)

オーストラリア (1788)

ニュージーランド (1840)

地図にアクセス

- ・時代の重要事項を一つ取り上げ、地図を活用する課題として掲載しています。
- ・生徒が地図を見るきっかけとなり、地図の活用が図れます。

日本の岩倉使節団の派遣

1871年、岩倉使節をリーダー（副団長）とする約50名の使節団が、横浜港を出国した。主な目的は、欧米諸国の政治制度や産業・文化の視察と不平等条約の改正交渉であったが、条約改正については、国力の弱いから受け入れられなかった。●p.97

5人の女子留学生 岩倉使節団とともに5人の女子留学生もアメリカに渡った。最年少であった津田梅子は帰国後、女子教育に力を尽くし、現在の津田塾大学となる塾をつくった。

使節団のルートと、使節が欧米のどの国を訪れたのかを確認しよう。

19世紀ごろの世界

列強とその領土(1850年ごろ)

- イギリス (英の拡大)
- フランス (露の拡大)
- スペイン (露の拡大)
- オランダ (露の拡大)
- ロシア (露の拡大)
- ポルトガル (露の拡大)
- ドイツ (露の拡大)
- オーストリア (露の拡大)
- プロシヤ (露の拡大)
- ベルギー (露の拡大)
- オランダ (露の拡大)
- ロシア (露の拡大)
- ポルトガル (露の拡大)
- スペイン (露の拡大)
- オーストリア (露の拡大)
- プロシヤ (露の拡大)
- ベルギー (露の拡大)

インド皇帝となるヴィクトリア女王 それまで東インド会社による支配が行われていたインドでは、インド大反乱の結果、イギリス本国による直接統治へと方針が転換された。ムガル帝国は滅亡し、代わってヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国が成立した。イギリスからインドが支配され、開始をされた。ディズレーリ首相はムガル皇帝の権威を女王に引き継がせ、安定したインド支配を図った。●p.86

巻頭地図②：東アジア全図

- 東アジア周辺については、時期ごとのより詳細な地図を掲載しています。
- 「世界全図」と併せて、日本と世界とのつながりを一望することができます。

頁	時期	サブタイトル
p.6	16世紀～17世紀半ば	ヨーロッパの来航と朱印船貿易
p.7	17世紀半ば～18世紀	清帝国の成立と東アジア
p.12	19世紀後半	近代国家日本の誕生と変わる東アジア
p.13	20世紀前半①	第一次世界大戦後の民族自決と国際協調
p.16	20世紀前半②	日本の大陸進出と太平洋戦争
p.17	20世紀後半	東西冷戦と日本

東アジア関係図

・地図中の時期について、日本と東アジアを中心とした関係図を設置。地図を見るポイントがわかります。

▼ p.12 19世紀後半の東アジア、p.13 20世紀前半の東アジア①

東アジアの動きと日本

- ・全図の時期における東アジアの動きと、日本の関連を解説しています。
- ・「世界全図」の「世界の動きと日本」と併せて確認することで、世界と日本とのつながりがより深くわかります。

東南アジアを含む地図

- ・東南アジア全域も含む地図により、例えば「西洋の衝撃」の様子や日本の対外進出などの全容も見えてきます。

12 19世紀後半の東アジア

近代国家日本の誕生と変わる東アジア

アヘン戦争以降、欧米諸国の中国進出が活発化した。東南アジアでも植民地化の動きが強まると、各地で植民地支配に抵抗する民族運動が起こった。一方、明治維新によって体制の転換を図った日本では、天皇を中心とする近代国家の建設を進めた。欧米をモデルとする富国強兵・殖産興業政策を進める明治政府は、朝鮮との間に日朝修好条規、清との間に日清修好条規を結び、東アジアに新たな国際関係を築いていった。多岐にわたる改革を進めたが、清朝による支配に限界を感じた孫文らは、日本をモデルに革命運動を展開していった。

13 20世紀前半の東アジア①

第一次世界大戦後の民族自決と国際協調

シベリア鉄道の建設によって東アジア進出を本格化させるロシアに対し、ロシアを警戒するイギリスは日本と日英同盟を結び、ロシアを牽制した。イギリスの援けを受けた日本が日露戦争に勝利すると、日本による朝鮮の植民地化が進んだ。欧米列強の支配がさらに進む清は、孫文らによる辛亥革命によって崩壊したが、新たに成立した中華民国も各地の軍閥が勢力争いを繰り返すなど、混乱が続いた。第一次世界大戦以降、世界各地に民族自決の動きが強まり、中国では五・四運動、朝鮮では三・一独立運動が起こった。同時に国際協調の機運が高まり、軍縮や中国の領土保全などが図られた。

全体構成

基本特色

注目ページ

デジタル

巻頭「もしもスペインかぜ流行時に SNS があったなら」

- 巻頭には、生徒にとって身近な SNS を模した特設ページを設置しています。テーマも、生徒の関心が高い「感染症」としてしています。
- 生徒が興味をもって読める誌面で、歴史の学習へとつながります。

見開き内の資料群

- ・生徒が自ら見たくなるような資料を選んでいきます。
- ・文章・絵画・写真・地図・動画など、さまざまな資料に触れることができます。
- ・二次元コードからアクセスできるウェブサイトで、見開き内すべての資料の解説や出典を見ることができます。

▼ 巻頭 1-巻頭 2 時代の扉 もしもスペインかぜ流行時に SNS があったなら

導入マンガ

- ・現在の新型コロナウイルス感染症の話題から、自然にスペインかぜの話題へとつなげます。

巻頭 1

歴史の扉 **もしもスペインかぜ流行時に SNS があったなら**

※1918～20年にかけて世界的に流行した感染症。全世界で5000万人の死者を出したとされている。この特集は、「もしも歴史上の人物が画像共有 SNS を使ったらこのような投稿をするかもしれない」という設定の上で構成しています。

コロナで世の中変わっちゃってもう大変! #マスク生活

ほんとにお〜イフスタもコロナ関連で盛り上がってるよ!

お、この画像面白くない?

スペインかぜだっけさ。

あれ、この画像投稿日時100年前じゃん!?

かなり投稿数多いね動画もあるみたい

何だか気になる〜、見てみようかな!

1920年の投稿

Taisho_girl 東京 <1920年1月15日 東京日日新聞7頁>

感冒流行に乗じ 口蓋の馬鹿値上

全部閉鎖

衛生局長、見栄を張らずに自分でつくれと言われましても、本当に予防効果はあるんですか? 2円のマスクなんてとても買えません

#おそばなら20杯 #あんぱんなら100個

Nandeyanen 大阪は10日間の休校期間入り...だから子どもと一緒に手づくりしてみた、これぞウシオノマスク!

Edokko_beranme 予防接種しようか悩む...あまり効果がないとか、注射針の消毒不足でほかの病気にかかっちゃうとか、悪い噂が聞こえてくるし、これってホント?みんなどうする?

2円!? そっか、今と昔では物価が全然違うんだね! 今だどのくらいになるんだろ?

予防接種の噂は、確かに不安になるよねー。それと、休校期間! 昔もあったんだなあ。この時はどんなことしてたんだろう?

1918年の投稿

US_Ojisan アメリカ

マスクしてないって乗車拒否された!!! アンビリーバブル! 俺の人権はどこいった?!! 無視して乗ってやっただけ! そもそもマスク買おうにもこんな行列に並ぶの無理!! #政府は反省せよ

US_Police 投稿者は条例違反により、逮捕されました。マスクの着用は、社会を維持するために必要な愛国的行為です。国民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

むむ、この行列、マスクしてない人がまっまいるぞとこでマスクを買うための行列があるってことは、アメリカでも値段が上がってたりするんじゃないかな。だとすれば当時の日本と同じだよ!

うーん、この人が逮捕されたことって、仕方がないのかなあ...。車掌さんや他の乗客の立場になってみたら、確かに困っちゃう。だけどこの人にも色んな事情があったかもしれないし...

昔の感染症の話題だったけど、思ったよりも共感できちゃったなあ〜。歴史ってわりと身近なものなのかもしれないね。あなたはどのできごとの SNS を見てみたい? どんな投稿が広がっているか、想像してみよう!

1919年 ユンケ 「スペインかぜの後の自画像」

スペインはここ

スペインかぜ流行MAP

第1波

第2波

ホントだ、スペインから広まったようにみえないかも! それに当時の日本の広告(資料3)では「感冒」ってよばれてるね。名前に着目してみると新しい発見があるかも!

えっ、どうしてアカウント停止になっちゃうの? こういう情報も戦争に影響を与えるってこと? 情報のコントロールって怖いなあ、何を信じればいいのか分からなくなっちゃう...

I had a little bird, Its name was Enza, I opened the window And in flew Enza!

マスク作ってみた

永森ミルク キヤラメル!

感染対策やってみた

1919年 ユンケ 「スペインかぜの後の自画像」

100年前の投稿と 高校生の反応

- ・当時の人々の視点に立った100年前の投稿を作成。生徒に過去への理解・共感・疑問をもたせ、歴史学習そのものへの興味を喚起します。
- ・高校生の反応として、キャラクターに投稿や情報を見る視点を示させ、生徒の疑問をさらに引き出します。

全体構成 基本特色 注目ページ デジタル

「地域の基礎知識」

- 各地域の風土や、「歴史総合」の学習範囲外となる前近代史について解説する「地域の基礎知識」を、通史ページの前（資料集 p.20-47）に掲載しています。
- 地域の特性をまとめた風土ページと、前近代史をまとめた歴史ページで構成しています。
- 近現代史の土台となる宗教などの事項を、いつでも確認することができます。

頁	地域	解説されている主な要素
p.20-29	東アジア	風土地図、宗教コラム「儒教」「新疆ウイグル自治区の言語と宗教」 江戸時代初頭までの日本史 明までの中国王朝、朝貢と冊封関係、科挙、朝鮮の歴史、モンゴル帝国の広がり
p.30,32-33	南アジア・東南アジア	風土地図、宗教コラム「仏教」「ヒンドゥー教」「シク教」 仏教とヒンドゥー教の確立、インドのイスラーム化、東南アジアへの宗教の広がり
p.34-37	西アジア・北アフリカ	風土地図、宗教コラム「エルサレムを聖地とする3つの一神教」「ゾロアスター教」 オリエントの古代文明、イスラームの誕生、スンナ派とシーア派、イスラームの拡大
p.38-39	アフリカ	風土地図、宗教コラム「アフリカのキリスト教国 エチオピア」 アフリカの諸王国、奴隷貿易について
p.40-45	ヨーロッパ	風土解説、宗教コラム「ヨーロッパにおけるキリスト教」 アテネの民主主義、ローマ=カトリック教会の隆盛、大航海時代、宗教改革、主権国家体制
p.46-47	南北アメリカ	風土地図、中南米の諸王国とスペインによる開発、英仏の北米入植

▼ p.40-41 ヨーロッパの風土と人々【風土ページ】

40 ヨーロッパ①

41 ヨーロッパにおけるキリスト教

●風土ページでは、大きな風土地図と写真で地域の特性が簡潔にわかります。

●特に宗教は、近現代史でも重要な要素であるため、丁寧に解説しています。

▼ p.42-43 ヨーロッパの歴史① 古代～中世【歴史ページ】

42 ヨーロッパ②

43 ヨーロッパの歴史① 古代～中世

●歴史ページでは、年表と資料により、各地域の前近代史を大観できます。

▼ p.44-45 ヨーロッパの歴史② 近世【歴史ページ】

44 ヨーロッパ③

45 ヨーロッパの歴史② 近世

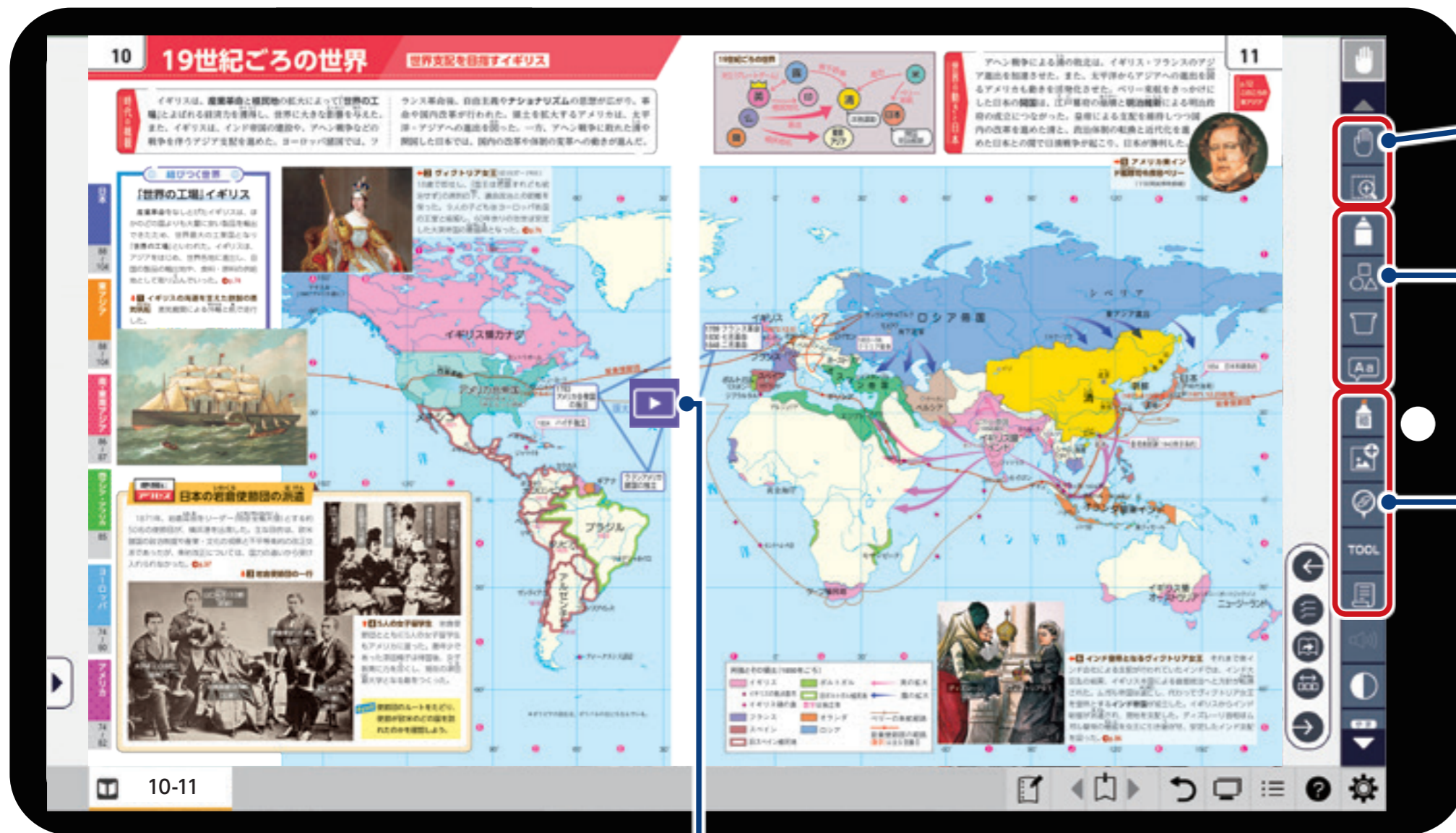
●例えば主権国家体制など、後世にも大きく影響する概念については、特に丁寧に解説しています。

全体構成
基本特色
注目ページ
デジタル



インターネット環境とタブレット端末があれば、いつでも・どこでも資料集が閲覧できる!

Windows 端末、Chromebook、iPad (Safari ブラウザ) 対応! ※詳細は p.23 下部「動作環境」をご覧ください。



ピンチイン/ピンチアウトに対応し、資料や写真を画面いっぱいに拡大することができます。

マーカーや文字列、図形を自由に貼り付けたり、消したりすることができます。

ビューア独自の便利な学習支援機能をご利用いただけます。

- 指定した場所にマーカーし、タップで表示・非表示を切り替えられるので、基礎知識の定着やテスト前の振り返りに活用できます。
- 誌面上に任意のウェブサイトへのリンクを設定できます。資料集での学習とウェブ上の資料を組み合わせるなど、自由にカスタマイズできます。

デジタル版コンテンツ

「巻頭全図の表示切り替え」

資料集 p.2-19 の「世界全図」「東アジア全図」全 12 点について、要素ごとに表示・非表示を変更できるレイヤー機能をご利用いただけます。

▶ p.10-11 19世紀ごろの世界イギリスのみ表示した状態



ラインアップ

商品名	定価	使用期間	品番
明解 歴史総合図説 シンフォニア 最新版 クラウド配信版	820 円 (本体 745 円 + 税)	使用開始から 3 年間	59050
明解 歴史総合図説 シンフォニア 最新版 セット版 (書籍 + クラウド配信)	1,320 円 (本体 1,200 円 + 税)		59051

動作環境

- 教材のご利用には、常時インターネット接続が必須となります(オフラインでのご利用はできません)。
- 推奨ブラウザ : Microsoft Edge、Google Chrome、Safari の最新版

※ Internet Explorer 11、旧 Microsoft Edge (レガシー) を含む非対応のブラウザを使用してのご利用や、ブラウザの設定により Cookie をブロックした場合は動作を保証いたしません。

Webサポートのご案内

『明解 歴史総合図説 シンフォニア』をご採用いただいた学校の先生方は、授業やテストに役立つコンテンツを閲覧・ダウンロードできる指導者用 Web サポートを無料でご利用いただけます。

ご採用校限定の
無料コンテンツ!

収録コンテンツの一例

★資料集掲載の動画

全 15 点の動画を再生可能! (一覧は本冊子 p.10 に掲載)



◀ サライェヴォ事件 (左) と「ベルリンの壁」の開放 (右)

★動画の解説+クイズシート

動画の解説とクイズで、資料活用しやすい!



※通史ページに掲載された動画 14 点についての解説・クイズとなります。巻頭 1 の動画「アメリカ赤十字社でのマスクの生産」の解説は、「もしもスペインかぜ流行時に SNS があったなら」資料解説にあります。

コンテンツ一覧

コンテンツ	データ形式
資料集掲載の動画 全 15 点	.mp4
動画の解説+クイズシート	.pdf
通史ページ「ヒストリーーツアーズ」 「〇〇の視点から振り返ろう」解答	.docx
「もしもスペインかぜ流行時に SNS があったなら」 資料解説	.docx

※ご利用の手順を記載した案内用紙は、指導者用副教材（添本）に添付いたします。

二次元コードから
収録コンテンツの
サンプルをチェック!



●PCの方は以下のURLからアクセスください。

URL : https://www.teikokushoin.co.jp/top/ad_ws/supplementary/index.html



帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29
TEL 03-3262-4795 (代)
URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>